

人と人との想いをつなぐ 社協の会費

みよし市社協は、住民の皆さん誰もが安全で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりのために様々な活動をしています。



助け合いの心を知る

市内の教育機関と連携した
福祉実践教室の実施



誰もが気軽に外出できる

福祉車両や車いすの貸出し



詳しくは、
ホームページもチェック!!



社協だより リニューアルについて

市民の皆さんに社会福祉協議会の取組みや地域で行われている福祉活動をより多く知っていただくためページ数を増やし、年に4回(1月、4月、7月、10月)発行することとなりました。より充実した内容を、皆さんにお届けしていきます。

《主な内容》

- 社協会費のご案内 …… P1
- 令和5年度社会福祉協議会事業計画・予算紹介 … P2・3
- 令和5年度共同募金委員会事業計画・予算紹介 … P4
- 社会福祉協議会の事業紹介 …… P5
- 権利擁護に関する事業紹介 …… P6
- 地域包括支援センターの事業紹介 …… P7
- ふくし・くらしのニュース …… P8



社会福祉協議会とは…?

「社会福祉法109条」に基づき設置され、地域の住民、社会福祉や保健、医療及び教育などさまざまな分野の関係者、団体、機関の協力を得て、地域福祉の推進を図る営利を目的としない民間組織です。

令和5年度社会福祉協議会事業計画・予算紹介

事業計画

第1 地域でみんなが支え合う福祉活動の推進

- 1 「お互いさま」の支え合いの充実
 - ・地域見守り活動事業(みまもっ手)
 - ・ふれ愛電話の実施
- 2 笑顔が生まれる交流の場の支援
 - ・高齢者世帯交流事業「おしゃべり会」の実施
 - ・障がい者福祉交流事業「ふれあいバード」の実施
- 3 地域の「困った」を解決するサービスの開発
 - ・生活支援体制整備事業「協議体」運営の支援
- 4 まちづくりをすすめる住民組織をサポート
 - ・地域福祉活動に活動助成金の交付
 - ・共同募金運動への協力
- 5 当事者・家族の仲間づくりを支援
 - ・福祉団体(いきいきクラブみよし連合会、身体障害者福祉協議会、手をつなぐ親の会、遺族会)の活動支援



第2 ボランティア活動の活性化

- 1 地域や社会のための活動を応援
 - ・ボランティアセンターの運営
 - ・ボランティア講座の実施
- 2 ともに生きる社会に向けて、福祉の心の育成
 - ・福祉教育推進校事業の実施
 - ・福祉実践教室の開催



第3 暮らしや地域の困りごとの相談対応

- 1 切れ目のない相談支援の取り組みとコミュニティソーシャルワーカー(CSW)の育成と活用
 - ・総合相談、心配ごと相談、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の育成と活用
- 2 低所得者、障がい者、高齢者世帯の暮らしの相談支援
 - ・生活福祉資金、(愛知県・みよし市)くらし資金の貸付相談、貸付事務の実施
- 3 生活困窮者の自立に向けての相談支援
 - ・自立相談支援事業の実施
 - ・家計改善支援事業の実施
- 4 障がい者の地域における自立した日常生活等を営むための相談事業
 - ・障がい者相談支援事業の実施



第4 地域で安心した暮らしの支援

- 1 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が十分でない人への日常生活の自立に向けた支援
 - ・日常生活自立支援事業、生活支援員派遣事業の実施
- 2 認知症高齢者、知的障がい者、精神障害者等の判断能力が不十分な人の成年後見制度の利用及び申立の支援
 - ・成年後見支援センターの運営



第5 住み慣れた地域での自分らしい生活を支援

- 1 地域での暮らしを支える在宅福祉サービスの実施
 - ・なかよし地域包括支援センターの運営
 - ・高齢者世話付住宅生活援助事業の実施
 - ・みよし訪問介護「ふれあいサービス」の運営
 - ・みよし居宅介護支援事業所の運営
 - ・みよし市障がい者福祉センターの運営



第6 法人運営の体制整備と経営基盤の強化

- 1 会員募集の推進
 - ・会員の加入促進
 - ・社協だよりによる活動内容の紹介
- 2 福祉サービスに関する苦情解決の適切な対処・対応
- 3 業務運営における個人情報保護の徹底
- 4 ホームページによる情報提供の推進
- 5 社協職員に求められる基本的・専門的能力の向上
- 6 第4期みよし市地域福祉活動計画の着実な推進
- 7 みよし市立福祉センターの指定管理と経営
- 8 みよし市障がい者福祉センターの指定管理と経営

予算 収入の部 合計360,002千円

科目	金額(千円)
会費	4,863
寄付金	1,035
補助金・共同募金配分金	87,899
受託金	118,715
貸付償還金	673
参加費・利用料	1,723
負担金	915
介護保険	39,046
障がい福祉サービス	11,747
利息配当金	77
事業区分間繰入金	88
サービス区分間繰入金	55,770
基金積立資産取崩	35,412
前期末支払資金	2,039

支出の部 合計360,002千円

科目	金額(千円)
人件費	228,691
事業費	21,628
事務費	32,979
貸付金	2,712
助成金	4,744
負担金	150
固定資産取得支出	3,811
区分間繰入金	55,857
積立資産	9,330
予備費	100

みよし市社会福祉協議会では、事業計画や収入支出などの状況を知っていただき、事業のご理解とご協力ををお願いするために、毎年状況を公表しています。

善意の気持ちありがとうございます

社会福祉協議会への寄附の紹介 1月16日~3月15日

(順不同・敬称略)

- ・第一生命労働組合豊田支部 車イス1台
- ・いきいきクラブみよし連合会 12,215円
- ・みよし市グラウンド・ゴルフ協会 8,000円
- ・三好丘緑フードバンク支援センター 食品166個
- ・トヨタ生活協同組合 食品15箱

令和5年度共同募金委員会事業計画・予算紹介

事業計画

第1 共同募金の活性化を図るために

共同募金の増額を図るため、関係機関との協調のもと、積極的な共同募金運動を展開する。

- 1 共同募金目標額の設定
- 2 街頭募金の推進
- 3 封筒募金方式(戸別募金)の推進
- 4 法人募金の拡大
- 5 職域募金の拡大
- 6 共同募金協力店の拡大(窓口募金)
- 7 キャッシュレス化の啓発(新規)

第2 共同募金への理解と参加意識の促進のために

共同募金の気運を醸成し、共同募金の啓発を行う。

- 1 行政区、学校、法人等協力機関との連携の強化
 - ア 広報用チラシを作成し、行政区を通じた各世帯への配付をはじめ、企業・事業所や職域、学校等へ協力を要請する。
 - イ 学校、民間社会福祉施設及び福祉団体への共同募金運動の参加依頼、街頭募金活動等への参加を依頼する。
- 2 共同募金を通じた地域福祉の理解活動の推進

社会福祉協議会の福祉実践教室や学校での壁新聞、地域での通いの場を活用して、児童生徒、地域住民に対する地域福祉の理解活動を推進する。
- 3 報道機関等への働きかけ

報道機関との連携を強化し、情報を積極的に提供するとともに、ひまわりネットワークのケーブルテレビやラジオラヴィットを活用した情報の発信に努める。
- 4 ソーシャルメディアの活用

社会福祉協議会の協力を得て、社会福祉協議会公式YouTubeチャンネルを利用し、共同募金運動の啓発を行う。
- 5 災害義援金への協力

「災害救助法」が適用される甚大な災害が発生した場合は、義援金受付窓口を開設し、寄せられた義援金を被災地共同募金会へ送金する。



第3 共同募金の使途、透明性を高めるために

- 1 積極的かつ効果的な広報活動の展開

共同募金資材(赤い羽根、ポスター、壁新聞、募金箱等)を積極的に活用し、共同募金に対する理解を深め、共同募金の増額を目指す。
- 2 会務の運営(理事会、評議員会及び監査)

会務の効率化を図り適正な運営を行うため、理事会、評議員会を開催する。また、事業及び収支決算について監査を実施する。
- 3 募金状況の公表

事業運営の透明性を一層高めるため、社協だより、ホームページ等により募金状況を公開・公表する。
- 4 本会の会計及び事務の処理の適正化

共同募金は広く住民相互の助け合いを基調とした善意と共助のもとに拠出されたものであることを認識し、寄附者の信託に応えられるよう、厳正かつ適切な事務処理を行うとともに、運営の透明性を高める。

予算 収入の部 合計6,863千円

科目	金額(千円)
共同募金収入	6,100
経常経費補助金収入	400
事業収入	84
法人内部間取引収入	279

支出の部 合計6,863千円

科目	金額(千円)
事業費	763
法人内部間取引支出	6,100



コロナでもつながりを守ろう

～絵はがきを通じた児童クラブの児童と地域の人の交流～

新型コロナウイルス感染拡大により、「会いたい人に会えない」「出かけたいところに出かけられない」状態が続いています。

そのようななか、市内の児童クラブの皆さんが描いてくれた絵はがきを、地域のひとり暮らしの高齢者に送る活動を行いました。

送った先の高齢者の皆さんからは「心のこもった絵はがき嬉しかったです」や「昨年の手紙と並べて神棚に飾っています」等のお返事を頂きました。

この活動は天王小、緑丘小児童クラブの皆さん、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社様のご協力で行いました。



在宅避難について学びました ～ボランティア養成講座～

みよし市ボランティアセンターでは、市内のボランティア活動が活発になるように定期的にボランティア養成講座を開催しています。

今回は2月23日に行った令和4年度ボランティア講座「在宅避難について学びませんか?」についてご紹介します。

この講座では、市内でSDGsに関するセミナーや環境関係イベントの企画運営などで活躍しているみよし市ボランティアセンター登録団体「カリヨンベルズ」代表 坊農由有子様を講師にお招きし、災害時のボランティア活動の前提になる「自分や大切な人を守る」ことをテーマに、災害時の在宅避難の方法やその準備に必要なことなどを、模型を使ったり、グループワークを交えながら多くのことを学びました。

この講座には、18名の方が参加し、グループのメンバーと会話がはずんだり、地域のことを話し合う様子もありました。



ボランティア登録・保険加入のご案内

「空いた時間にボランティアをしてみたい」「誰かの役に立てることないかな」とお考えの方、ボランティアをはじめませんか??ボランティアに関するご相談も随時受け付けています。

ボランティア登録

- 対象…ボランティアに興味のある方
- 登録方法…みよし市ボランティアセンター(みよし市立福祉センター内)窓口にてボランティア登録用紙にご記入の上、ご提出ください。※登録は年度ごとの更新になります。
- その他…登録にはグループで登録する「ボランティア団体登録」、個人で登録する「個人ボランティア登録」の2つの方法があります。

ボランティア活動保険 加入しておくともボランティア活動中も安心です。

- 加入条件…みよし市ボランティアセンターにボランティア登録をしていること
- 補償期間…加入完了日の翌日から令和6年3月31日まで
- 必要なもの…印鑑、名簿(団体で加入する場合)、保険料
- 保険料

種類	Aプラン	Bプラン	Cプラン
基本プラン	250円	300円	500円
天災プラン	400円	500円	800円

※補償条件や補償内容等はお気軽にお問い合わせください。



権利擁護に関する事業を紹介します。

成年後見制度

日常生活自立支援事業

生活支援員派遣事業

生活困窮者自立支援事業

はご存知ですか？



福祉の制度ってことは分かるけど、似たような名前でもだか分かりにくい。金銭管理を例に各制度の違いを下記へまとめました。

成年後見制度

認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が全くないまたは不十分な人が対象。日常生活に必要な金銭管理・預貯金通帳等の重要書類の預かりだけでなく、不動産などの財産管理や法的な契約行為などを代理することで、本人の権利を守る制度です。

日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が不十分な人が対象。利用者との契約に基づいて日常生活に必要な金銭管理・預貯金通帳等の重要書類の預かりを行う制度です。

生活支援員派遣事業

判断能力はあるが、身体障がいや身体が不自由なため日常生活をおくる上での各種手続等を行うことが困難となった人が対象。利用者との契約に基づいて日常生活に必要な金銭管理・預貯金通帳等の重要書類の預かりを行う制度です。

生活困窮者自立支援事業

生活上の困難に直面している人に対して、地域で自立した生活が行えるよう、一人ひとりの状況に応じた相談及び支援を行います。

判断能力なし

判断能力が全くないまたは不十分な人の財産管理や法的な契約行為を代理。

成年後見人等が金銭管理できます。

判断能力が不十分な人の日常生活費の管理

社協が金銭管理できます。

判断能力はあるが、身体的理由で外出困難な人の日常生活費の管理

社協が金銭管理できます。

判断能力はあるが、家計に課題があり、生活に困窮している人の支援

金銭管理は自身でお願いします。

判断能力あり



心配ごと相談

心配ごと相談は、地域住民の暮らし全般に関わる相談に応じています。例えば、生計のこと、家族のこと、仕事のこと、病気や介護のことなど。どこに相談してよいか悩まれている方、ぜひ一度、相談してみませんか。

相談日 日時…毎月5日及び20日(9時から12時まで)※土日祝日の場合は翌開館日
場所…福祉センター2階(相談室B)
費用…無料

地域包括支援センターの事業紹介

みなさんこんにちは☆☆
 なかよし地域包括支援センターのナカヨシコちゃんです。
 今回は包括支援センターとみよし市身体障害者福祉協議会のコラボイベントがありましたのでご紹介しますね。
 『健康づくり講習会』と題して介護保険についてのお話と電動カーットの試乗や歩行器を使った福祉用具の実体験について一緒にさせていただきます♡



なかよし地域包括支援センターは、みよし市から委託を受けた「高齢者の相談窓口」です。65歳からの介護や健康に関するさまざまな相談を受けています。必要に応じてご自宅へ訪問もします。

まずは、当包括支援センター職員から介護保険のサービスを(さらっと)説明しました。



続いて、電動カートや歩行器などの提供をいただいた『株式会社ヤマシタ』から福祉用具を使うメリットや、歩行器とシルバーカーの違い(???)について説明してもらいました。そして、いよいよ(こちらが本題ね☆☆)電動カーットの試乗や歩行器の体験で～す。



▲電動カート

▲歩行器

“ワイワイがやがや”しながらも、実際に触れて、乗って、みなさん楽しく体験していただくことができました。

ふくし・くらしのニュース

地域福祉活動助成事業

市民の地域福祉課題を解決するために主体的、自主的に取り組む地域福祉活動を応援します。

- ▼対象団体…法人格を持たない任意団体又は特定非営利活動法人
- ▼対象内容…市民と連携及び協力し、地域住民が主体となって実施する支え合い、助け合いなど地域福祉の視点が盛り込まれた活動。ただし、政治や宗教等と連動する事業など、助成事業とならない事業もあります。
- ▼助成内容…活動費の一部を助成します。
 - (1)申請初年度 1団体 150,000円以内
 - (2)継続申請 (2年目以降、継続申請は4年を限度とします)
1団体 100,000円以内

障がい者ガソリン助成事業

下肢障がい者の方に、日常生活の便宜と社会参加の促進を図るため、使用する車のガソリン費の一部を助成します。

- ▼対象者…次のいずれにも該当する人
 - (1)市内に住所を有する
 - (2)身体障がい者手帳の等級区分1級から2級でかつ下肢障がい者
 - (3)対象者名義の自家用車を所有又は使用し、かつ運手免許証を所有する
- ▼助成範囲…5,000円/年
- ▼申請に必要なもの
 - (1)みよし市身体障がい者ガソリン助成申請書 ※窓口にてお渡しします
 - (2)身体障害者手帳の写し (3)免許証の写し (4)車検証の写し



高齢者運転免許証自主返納支援事業

運転免許証を公安委員会に自主返納した人に電子マネー (manaca) を助成し、外出機会の応援をします。

- ▼対象者…次のいずれにも該当する人
 - (1)申請時に65歳以上で、運転免許証にみよし市の住所が記載されている
 - (2)運転免許証を自主返納し、公安委員会への申請による運転免許証の取消通知書を交付された
- ▼内容…manaca1枚 5,000円(カード保証金含む)
- ▼申請に必要なもの
 - 申請による運転免許の取消通知書の写し
 - (運転免許証の自主返納時に交付されたもの)
- ▼その他…助成は1人1回、申請の期限は、運転免許証を自主返納した日から1年以内



社協から外国人のみなさんへ(ポルトガル語訳)

みよし市社会福祉協議会のホームページで、社協だよりの一部をポルトガル語で見れるようになりました。本紙をスマートフォンやタブレットでご覧いただけます。

No site do Conselho Municipal de Assistência Social de Miyoshi, você já pode ler o Boletim informativo de Assistência Social em português. Você pode ver este artigo em seu smartphone ou tablet

